

ハブハブハバー

ハブハブハバー

1年 Y・Sさん

わたしは、ブハーがきらいです。ブハーには、どこがあるからです。どこがあるともじどくにかかってしまうと、じぶんがきけんです。

わたしは、ルリカケスくんがすきです。ルリカケスくんは、ブハーのようすがへんだから、見にいってくれる、やさしい子です。ブハーのひとりぼっちでかなし気もちをきいてくれただけではなく、ブハーがなかまに入れるようにやくそくしてくれたルリカケスくんは、やさしいし、わたしも友だちの気もちを聞いてあげたいです。

やさしいルリカケスくんがわたしはすきだけど、わたしがきらいなブハーは、やさしくないのでしょうか。ブハーもやさしいです。ブハーは自分から友だちをたすけてくれたし、自分が苦しくても木を口にはさんで友だちをあんしんさせてくれました。

やさしさには、しゅるいがあります。たとえば、人をたすけたり、てつだってくれるやさしさがありますが、わたしがすきなやさしさは、みんなでなかよくあそべるためのやさしさです。だからブハーをなかまに入れてくれたルリカケスくんが、わたしはすきです。

わたしがすきなやさしさをもっているのはルリカケスくんだけど、ブハーもしゅるいがちがうやさしさをもっています。そのことは大じです。

ブハーをいきなりすきにはなれないけれど、ブハーのやさしさといっしょにいたいなとおもいます。ブハーがたすけてくれたらわたしもうれしいし、なかまに入れて自分から言えるブハーのゆう気がわたしにもほしいです。